

令和8年度いじめ未然防止プログラム「活動のマトリクス」

学校名 北海道剣淵高等学校

	ア 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の教科・領域の関連を図ったプログラム	イ 子ども会議等の児童会・生徒会活動との関連を図ったプログラム	ウ 社会教育（家庭や地域）と連携した体験活動との関連を図ったプログラム	エ（その他）道徳教育・人権教育・情報モラル教育等との関連を図ったプログラム
① 居場所づくり 教師が主体	【A 定期的な教育相談の実施】 ・各年次3回の教育相談を実施し、学級づくりの支援策として担任以外の教師が生徒と教育相談を行う。	【D①体育大会】 ・全校一斉の体育大会を実施することで上級生と下級生の望ましい人間関係形成を目指す。 【D②カルタ大会】 ・全校生徒で百人一首（伝統芸能の継承）を行い、人間関係の構築を目指す。	【G 定期的な販売会の実施】 ・年間20回以上の町内外の販売実習を実施することで、自分以外の異なる考えや立場の人を理解し、コミュニケーション能力を育成する。	【J 情報に関する教室】 ・スマートフォン等によるインターネットの利用について、そのルールやマナーについて理解を深めてトラブルを防止するとともに望ましい使い方を学ぶ。
② 絆づくり 生徒が主体	【B 対面式】 ・学校紹介や自己紹介をとおして、コミュニケーション能力を育成する。	【E 剣淵町青少年健全育成標語コンクール】 ・いじめ・非行防止・薬物乱用の標語等を作成する。また、作品を一覧にして発表する機会を設ける。	【H①委託実習】 ・職業観や勤労観の形成を図り、地域社会の重要性を学ぶ。 【H②ボランティア活動】 ・学童ボランティア ・社会福祉協議会事業 ・ふれあい広場	【K 体験入学】 ・中学生向けの体験入学において、高校生が教師役となり中学生に実技指導を行う。
③ 環境づくり いずれかが主体	【C①クリーン作戦】 ・人間尊重の精神に立って社会の中で共に生き豊かな人間性を養う。 【C②全校一斉清掃活動】 ・全校生徒で清掃することで仲間との協力の在り方を考える。	【F①タウンミーティングの実施】 ・町長をはじめとする大人と直接対話を進めることで望ましい環境づくりを図る。 【F②学習環境の整備】 ・生徒会の各委員会が規範意識等の向上を図る掲示物の作成、掲示をする。	【I 奉仕活動】 ・全校生徒と保護者で公共施設や福祉施設の花壇造りを行うことで町内や公共施設の美化に努めると同時にボランティア精神を養う。	【L 保育所・小学校・中学校連携授業の実施】 ・菜園活動の一環として植物を育て、命の大切さや食の大切さを学ぶ。また、異種間の対話を通して自他を尊重する気持ちを育む。

←→ は、活動のつながりを示しています。